

令和元年10月18日

重要伝統的建造物群保存地区の選定について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和元年10月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに2地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定することを文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、重要伝統的建造物群保存地区は、120地区となる予定です。

重要伝統的建造物群保存地区の新規選定

名 称	所 在 地
たつの市龍野伝統的建造物群保存地区	兵庫県たつの市
南さつま市加世田麓伝統的建造物群保存地区	鹿児島県南さつま市

◎今回の答申における特筆すべきもの

たつの市龍野伝統的建造物群保存地区

兵庫県たつの市

兵庫県西南部の西播磨地方に位置する、中世を起源とする龍野城下に形成された商家町。うすくちしょうゆ発祥の地としても著名で、17世紀後半に始まったしょうゆ醸造により近代にかけて発展し、現在も地区内で生産が続く。江戸時代の町割も良好に残り、近世に成立した5町を中心に、近世から昭和戦前期までに建てられた伝統的な建造物がよく残る。

<担当> 文化庁文化財第二課

課 長 岡本 任弘（内線 2873）

課長補佐 田井 祐子（内線 3025）

伝統的建造物群部門 西山和宏，大石崇史，清永洋平
（内線 2794・4697）

審議会係 小島 学，森 弓乃（内線 3160）

電話：03-5253-4111（代表）

【新規1】うすくちしょうゆの発祥地として醸造業で栄えた龍野城下の商家町。

たつの市龍野伝統的建造物群保存地区

所在地 兵庫県たつの市龍野町大字大手の全域並びに大字門の外，大字上川原，
大字旭町，大字水神町，大字下川原，大字立町，大字本町，大字川原町
及び大字上霞城の各一部

面積 約15.9ヘクタール

選定基準 (一) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの

たつの市は兵庫県西南部の西播磨地方に位置する。たつの市のほぼ中央，古代から西播磨の中心地であった龍野は，戦国時代に赤松氏が揖保川西岸にある鶏籠山の山頂に城を築いて居城とした。城の南の狭小な平野には16世紀末までに町並みが成立していたとみられ，江戸時代になると山裾に城が移され，城下町が形成された。龍野は，江戸時代を通じて西播磨の政治経済の中心地として栄え，17世紀後半にしょうゆ醸造が始まって以降は，醸造業を中心に発展し，近代以降もしょうゆ醸造を主産業として栄えた。

保存地区は，城下町のうち，旧町人地の主要部を含む範囲で，江戸時代から昭和戦前期にかけて建てられた伝統的建造物が良好に残る。敷地の間口いっぱいにつまき主屋は，切妻造，平入を基本とし，近世はつし2階建の本瓦葺が多く見られるが，近代になるとさんがわら椽瓦が主となり，明治中期以降には本2階建のものが増える。平面は，通り土間に沿って3室を1列に並べるものが主体を占め，間口の大きい家では2列となる。1階は，古くは出格子を構えるものや，全面を引戸とするものが見られ，大正以降になると，こしかべ腰壁を設けて格子窓とする形式が多くなり，同形式への改修も進んだ。2階はおおかべ大壁を基本とし，むしこまど虫籠窓や出格子窓のほか，金属格子をはめるもの，近代になるとガラス窓なども現れる。主屋以外には，門や敷地の周囲を囲む高塀などもみられる。保存地区には，しょうゆ醸造に伴う長大な土蔵造の建物や洋風建築等の醸造関連施設もみられ，近世から近代にかけて発展した醸造町の歴史的風致を形成する。

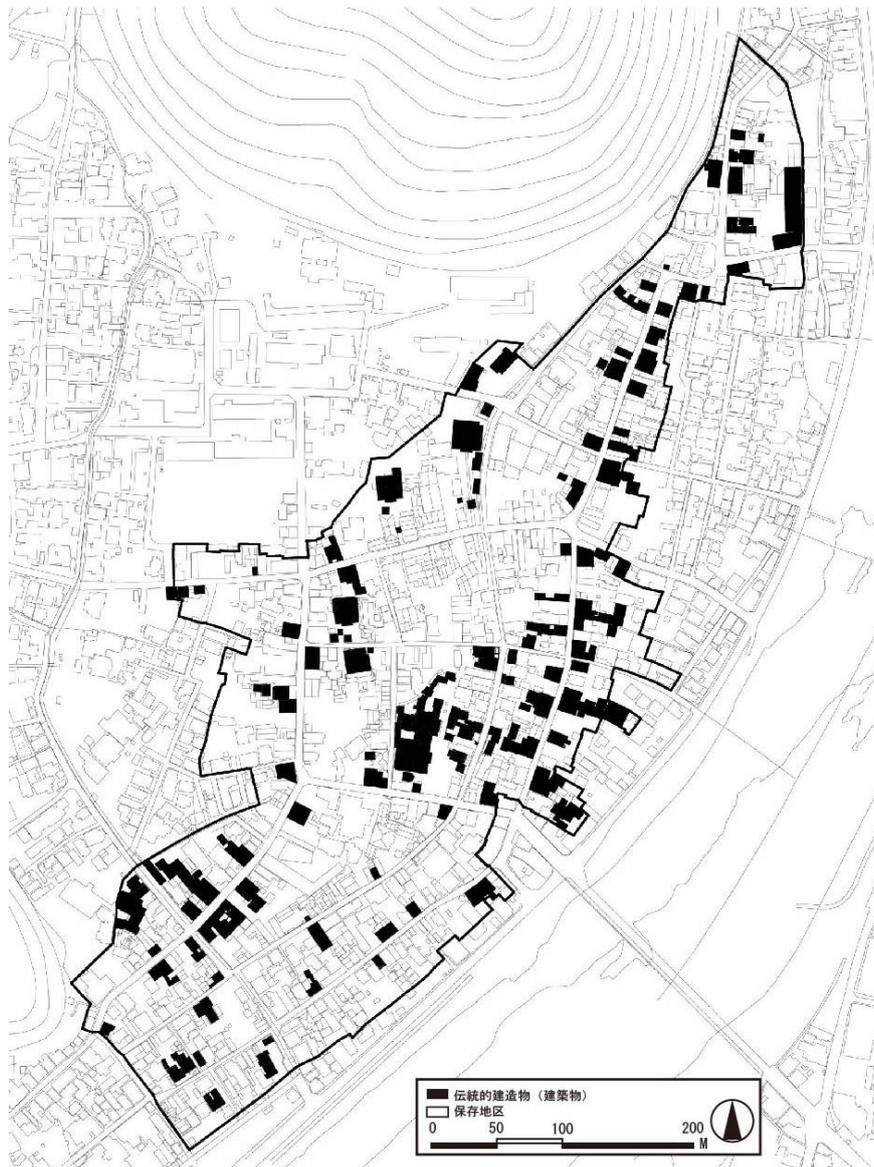
たつの市龍野伝統的建造物群保存地区は，16世紀末までに龍野城下に形成され，近世以降，しょうゆ醸造の一大産地に発展した町である。江戸時代に形成されたまちわり町割を残すとともに，軒が低く大壁造の古式な町家や醸造等に関わる重厚な土蔵等がよく残り，中世を起源とする西播磨の城下町としての歴史的風致をよく伝え，我が国にとって価値が高い。



【写真1】 現役の醤油蔵（右）が建つ町並み



【写真2】 通り沿いに軒の低い町家が連なる
(写真1, 写真2 共に提供はたつの市)



たつの市龍野伝統的建造物群保存地区の範囲

【新規2】地形を巧みに活かして形成された、鹿児島藩の武家地。生垣が水路に映える。

みなみ
南さつま市加世田麓伝統的建造物群保存地区

所在地 鹿児島県南さつま市大字加世田武田字下鴻巣，字尼ヶ城，字社附及び字柿本小路の全域並びに加世田本町，加世田麓町，大字加世田武田字城のやま，字上鴻巣，字竹田神社山，字梶畠ヶ，字八反堀，字下上鴻巣，字下なかぐるす，字山下小路及び字越ヶ迫の各一部

面積 約20.0ヘクタール

選定基準 (二) 伝統的建造物群及び地割ちわりがよく旧態を保持しているもの

南さつま市は、薩摩半島の南西端に位置し、加世田麓は、市域の北部、加世田川西岸の独立丘陵と台地に挟まれた南北に細長い平坦地に位置する。江戸時代、鹿児島藩は領内に外城と呼ぶ行政区画を設けて統治し、外城には家臣団の居住域である麓に、地頭仮屋と称する行政庁を置いた。12世紀後期に別府氏が加世田川西岸の独立丘陵に別府城を築いたが、15世紀中期以降は島津家が加世田を領有し、江戸時代には加世田も外城の一つとなった。別府城の周辺に広がりをもせていた武家地は、18世紀中頃に益山用水が開削されるなど、この頃、地割が整備されたと考えられる。近代以降も南薩地域の政治経済の拠点として発展するが、市街地の中心は麓の北方へと移り、旧武家地の地割は残された。

保存地区は、加世田麓のうち、加世田川西岸の区域とその南の竹田神社を含む範囲である。自然地形に沿って緩やかに曲がる大きな2本の街路と、台地裾野の湧水地から延びる水路に沿う数本の小路は、近世末期の旧態をよく留める。屋敷地の周囲には石垣と生垣を設け、敷地境から若干後退させて腕木門を開く。街路との間には庭を設けて、主屋をやや奥に配し、その周囲に附属屋を建てる。主屋は、入母屋造、平入、棧瓦葺、平屋建を基本とする。縁を介してザシキが庭に面する平面形式は、昭和初期になっても継承される。

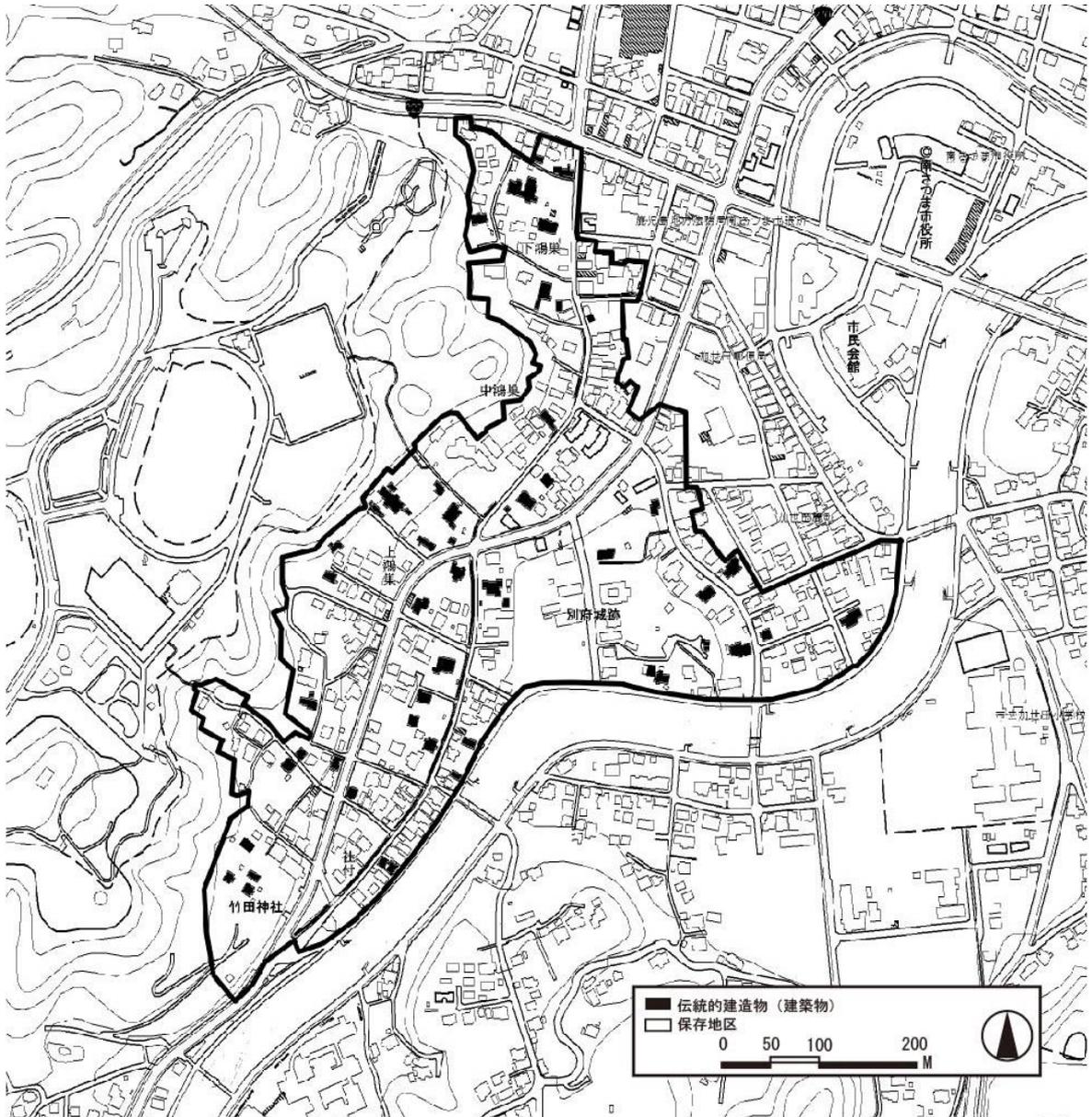
南さつま市加世田麓伝統的建造物群保存地区は、中世以来の山城周辺に形成された武家地を起源とする麓であり、自然地形に沿って曲線を描く街路や地割は近世以来の姿をよく留める。近世の武家住宅やその形式を引き継ぐ主屋をはじめ、益山用水とそこに架かる石橋、敷地を画する石垣や生垣、腕木門などとともに、地形を巧みに活かして形成された麓の独特な歴史的風致をよく伝えており、我が国にとって価値が高い。



【写真1】旧武家地を南北に貫流する益山用水



【写真2】街路沿いに石垣や生垣，腕木門が並ぶ
(写真1, 写真2 共に提供は南さつま市教育委員会)



南さつま市加世田麓伝統的建造物群保存地区の範囲

【参考資料】

・重要伝統的建造物群保存地区の数

	現在	新規選定	累 計
重要伝統的建造物群保存地区数 (所在都道府県数)	118地区	2地区 (2県)	120地区
(所在市町村数)	43道府県 98市町村	2市	43道府県 100市町村

※新規選定における()内の数字は、左欄の内数

・重要伝統的建造物群保存地区一覧(官報告示後)

No	道府県	地区名称	種 別	選 定 (追加選定)	選定 基準	面積(ha)
1	北海道	函館市元町末広町	港町	平 1. 4. 21	(三)	14.5
2	青森	弘前市仲町	武家町	昭53. 5. 31	(二)	10.6
3	青森	黒石市中町	商家町	平17. 7. 22	(一)	3.1
4	岩手	金ヶ崎町城内諏訪小路	武家町	平13. 6. 15	(二)	34.8
5	宮城	村田町村田	商家町	平26. 9. 18	(一)	7.4
6	秋田	横手市増田	在郷町	平25.12. 27	(二)	10.6
7	秋田	仙北市角館	武家町	昭51. 9. 4	(二)	6.9
8	福島	喜多方市小田付	在郷町・醸造町	平30. 8. 17	(二)	15.5
9	福島	下郷町大内宿	宿場町	昭56. 4. 18	(三)	11.3
10	福島	南会津町前沢	山村集落	平23. 6. 20	(三)	13.3
11	茨城	桜川市真壁	在郷町	平22. 6. 29	(二)	17.6
12	栃木	栃木市嘉右衛門町	在郷町	平24. 7. 9	(二)	9.6
13	群馬	桐生市桐生新町	製織町	平24. 7. 9	(二)	13.4
14	群馬	中之条町六合赤岩	山村・養蚕集落	平18. 7. 5	(三)	63.0
15	埼玉	川越市川越	商家町	平11.12. 1	(一)	7.8
16	千葉	香取市佐原	商家町	平 8.12.10	(三)	7.1
17	新潟	佐渡市宿根木	港町	平 3. 4. 30	(三)	28.5
18	富山	高岡市山町筋	商家町	平12.12. 4	(一)	5.5
19	富山	高岡市金屋町	鋳物師町	平24.12.28	(一)	6.4
20	富山	南砺市相倉	山村集落	平 6.12.21	(三)	18.0
21	富山	南砺市菅沼	山村集落	平 6.12.21	(三)	4.4
22	石川	金沢市東山ひがし	茶屋町	平13.11.14	(一)	1.8
23	石川	金沢市主計町	茶屋町	平20. 6. 9	(一)	0.6
24	石川	金沢市卯辰山麓	寺町	平23.11.29	(二)	22.1
25	石川	金沢市寺町台	寺町	平24.12.28	(二)	22.0
26	石川	輪島市黒島地区	船主集落	平21. 6. 30	(二)	20.5

27	石川	加賀市加賀橋立	船主集落	平17.12.27	(二)	11.0
28	石川	加賀市加賀東谷	山村集落	平23.11.29	(三)	151.8
29	石川	白山市白峰	山村・養蚕集落	平24.7.9	(三)	10.7
30	福井	小浜市小浜西組	商家町・茶屋町	平20.6.9	(二)	19.1
31	福井	若狭町熊川宿	宿場町	平8.7.9	(三)	10.8
32	山梨	甲州市塩山下小田原上条	山村・養蚕集落	平27.7.8	(三)	15.1
33	山梨	早川町赤沢	山村・講中宿	平5.7.14	(三)	25.6
34	長野	長野市戸隠	宿坊群・門前町	平29.2.23	(二)	73.3
35	長野	塩尻市奈良井	宿場町	昭53.5.31	(三)	17.6
36	長野	塩尻市木曾平沢	漆工町	平18.7.5	(二)	12.5
37	長野	千曲市稻荷山	商家町	平26.12.10	(二)	13.0
38	長野	東御市海野宿	宿場・養蚕町	昭62.4.28	(一)	13.2
39	長野	南木曾町妻籠宿	宿場町	昭51.9.4	(三)	1,245.4
40	長野	白馬村青鬼	山村集落	平12.12.4	(三)	59.7
41	岐阜	高山市三町	商家町	昭54.2.3 (平9.5.29)	(一)	4.4
42	岐阜	高山市下二之町大新町	商家町	平16.7.6	(一)	6.6
43	岐阜	美濃市美濃町	商家町	平11.5.13	(一)	9.3
44	岐阜	恵那市岩村町本通り	商家町	平10.4.17	(三)	14.6
45	岐阜	郡上市郡上八幡北町	城下町	平24.12.28	(三)	14.1
46	岐阜	白川村荻町	山村集落	昭51.9.4	(三)	45.6
47	静岡	焼津市花沢	山村集落	平26.9.18	(三)	19.5
48	愛知	名古屋市有松	染織町	平28.7.25	(一)	7.3
49	愛知	豊田市足助	商家町	平23.6.20	(一)	21.5
50	三重	亀山市関宿	宿場町	昭59.12.10	(三)	25.0
51	滋賀	大津市坂本	里坊群・門前町	平9.10.31	(三)	28.7
52	滋賀	彦根市河原町芹町地区	商家町	平28.7.25	(二)	5.0
53	滋賀	近江八幡市八幡	商家町	平3.4.30	(一)	13.1
54	滋賀	東近江市五個荘金堂	農村集落	平10.12.25	(三)	32.2
55	京都	京都市上賀茂	社家町	昭63.12.16	(三)	2.7
56	京都	京都市産寧坂	門前町	昭51.9.4 (平8.7.9)	(三)	8.2
57	京都	京都市祇園新橋	茶屋町	昭51.9.4	(一)	1.4
58	京都	京都市嵯峨鳥居本	門前町	昭54.5.21	(三)	2.6
59	京都	南丹市美山町北	山村集落	平5.12.8	(三)	127.5
60	京都	伊根町伊根浦	漁村集落	平17.7.22	(三)	310.2
61	京都	与謝野町加悦	製織町	平17.12.27	(二)	12.0

62	大阪	富田林市富田林	寺内町・在郷町	平 9.10.31 (平30. 8.17)	(一)	12.9
63	兵庫	神戸市北野町山本通	港町	昭55. 4.10	(一)	9.3
64	兵庫	豊岡市出石	城下町	平19.12. 4	(二)	23.1
65	兵庫	篠山市篠山	城下町	平16.12.10	(二)	40.2
66	兵庫	篠山市福住	宿場町・農村集落	平24.12.28	(三)	25.2
67	兵庫	養父市大屋町大杉	山村・養蚕集落	平29. 7.31	(三)	5.8
68	兵庫	たつの市龍野	商家町・醸造町	—	(一)	15.9
69	奈良	橿原市今井町	寺内町・在郷町	平 5.12. 8	(一)	17.4
70	奈良	五條市五條新町	商家町	平22.12.24	(一)	7.0
71	奈良	宇陀市松山	商家町	平18. 7. 5	(一)	17.0
72	和歌山	湯浅町湯浅	醸造町	平18.12.19	(二)	6.3
73	鳥取	倉吉市打吹玉川	商家町	平10.12.25 (平22.12.24)	(一)	9.2
74	鳥取	大山町所子	農村集落	平25.12.27	(三)	25.8
75	島根	大田市大森銀山	鉱山町	昭62.12. 5 (平19.12. 4)	(三)	162.7
76	島根	大田市温泉津	港町・温泉町	平16. 7. 6 (平21.12. 8)	(二)	36.6
77	島根	津和野町津和野	武家町・商家町	平25. 8. 7	(二)	11.1
78	岡山	倉敷市倉敷川畔	商家町	昭54. 5.21 (平10.12.25)	(一)	15.0
79	岡山	津山市城東	商家町	平25. 8. 7	(一)	8.1
80	岡山	高梁市吹屋	鉱山町	昭52. 5.18	(三)	6.4
81	広島	呉市豊町御手洗	港町	平 6. 7. 4	(二)	6.9
82	広島	竹原市竹原地区	製塩町	昭57.12.16	(一)	5.0
83	広島	福山市鞆町	港町	平29.11.28	(二)	8.6
84	山口	萩市堀内地区	武家町	昭51. 9. 4 (昭53. 5.31)	(二)	55.0
85	山口	萩市平安古地区	武家町	昭51. 9. 4 (平 5.12. 8)	(二)	4.0
86	山口	萩市浜崎	港町	平13.11.14	(二)	10.3
87	山口	萩市佐々並市	宿場町	平23. 6.20	(二)	20.8
88	山口	柳井市古市金屋	商家町	昭59.12.10	(一)	1.7
89	徳島	美馬市脇町南町	商家町	昭63.12.16	(一)	5.3
90	徳島	三好市東祖谷山村落合	山村集落	平17.12.27	(三)	32.3
91	徳島	牟岐町出羽島	漁村集落	平29. 2.23	(三)	3.7
92	香川	丸亀市塩飽本島町笠島	港町	昭60. 4.13	(三)	13.1
93	愛媛	西予市宇和町卯之町	在郷町	平21.12. 8	(二)	4.9
94	愛媛	内子町八日市護国	製蠟町	昭57. 4.17	(三)	3.5
95	高知	室戸市吉良川町	在郷町	平 9.10.31	(一)	18.3

96	高知	安芸市土居廓中	武家町	平24. 7. 9	(二)	9.2
97	福岡	八女市八女福島	商家町	平14. 5. 23	(二)	19.8
98	福岡	八女市黒木	在郷町	平21. 6. 30	(三)	18.4
99	福岡	うきは市筑後吉井	在郷町	平 8. 12. 10	(三)	20.7
100	福岡	うきは市新川田籠	山村集落	平24. 7. 9	(三)	71.2
101	福岡	朝倉市秋月	城下町	平10. 4. 17	(二)	58.6
102	佐賀	鹿島市浜庄津町浜金屋町	港町・在郷町	平18. 7. 5	(二)	2.0
103	佐賀	鹿島市浜中町八本木宿	醸造町	平18. 7. 5	(一)	6.7
104	佐賀	嬉野市塩田津	商家町	平17. 12. 27	(二)	12.8
105	佐賀	有田町有田内山	製磁町	平 3. 4. 30	(三)	15.9
106	長崎	長崎市東山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	7.5
107	長崎	長崎市南山手	港町	平 3. 4. 30	(二)	17.0
108	長崎	平戸市大島村神浦	港町	平20. 6. 9	(二)	21.2
109	長崎	雲仙市神代小路	武家町	平17. 7. 22	(二)	9.8
110	大分	日田市豆田町	商家町	平16. 12. 10	(二)	10.7
111	大分	杵築市北台南台	武家町	平29. 11. 28	(二)	16.1
112	宮崎	日南市飢肥	武家町	昭52. 5. 18	(二)	19.8
113	宮崎	日向市美々津	港町	昭61. 12. 8	(二)	7.2
114	宮崎	椎葉村十根川	山村集落	平10. 12. 25	(三)	39.3
115	鹿児島	出水市出水麓	武家町	平 7. 12. 26	(二)	43.8
116	鹿児島	薩摩川内市入来麓	武家町	平15. 12. 25	(二)	19.2
117	鹿児島	南九州市知覧	武家町	昭56. 11. 30	(二)	18.6
118	鹿児島	南さつま市加世田麓	武家町	—	(二)	20.0
119	沖縄	渡名喜村渡名喜島	島の農村集落	平12. 5. 25	(三)	21.4
120	沖縄	竹富町竹富島	島の農村集落	昭62. 4. 28	(三)	38.3
合 計		43道府県98市町村118地区				3,924
合 計 (新規選定候補を含む)		43道府県100市町村120地区				3,960

- ・重要伝統的建造物群保存地区選定基準（昭和50年11月20日文部省告示第157号）
 伝統的建造物群保存地区を形成している区域のうち次の各号の一に該当するもの
- (一) 伝統的建造物群が全体として意匠的に優秀なもの
 - (二) 伝統的建造物群及び地割ちわりがよく旧態を保持しているもの
 - (三) 伝統的建造物群及びその周囲の環境が地域的特色を顕著に示しているもの